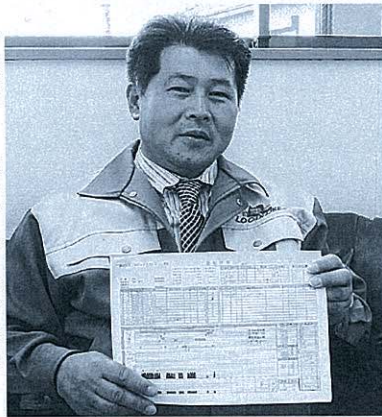


【千葉】ロジックスライ
イン(千葉県成田市)の沢
田秀明社長の朝は、前日
のドライバーの日報チェ
ックから始まる。200
5年にデジタルタコグラ
フを導入したことで、日
報は自動出力になった。
沢田社長が確認するのは
ドライバーの拘束時間、
連続運転時間など改善基
準告示の順守状況だ。
チェックが終わると、
今度は事務員が細かな時
間計算を行い、「1日の拘
束時間」などを専用印で
書き込んでいく。
航空輸出貨物の集荷や
輸入貨物の配送を手掛
け、大型トラックから4
ト、2トまで車両30両を
保有する。成田空港至近
の本社の立地を生かして

GPS動態管理

ロジックスライン



告示厳守の日報を手にする沢田社長

で超えたなら給与保証を
している」と強調する。
富士通グループのトラ
ックストロン(宇高義友社
長、横浜市北区)から勤
められたGPS(全世界
測位システム)による動
態管理システムとデジタ
コを導入。現在はネット



ウオッチ

いつ荷物が届き、何時ま
でに配送すれば良いかが
読めない。動態管理シ
ステムの情報を荷主と共有
することで、車両位置か
ら配車を組むことができ
る。「ドライバーごとの
連続運転時間や休憩時間
など、告示と照らし合わ
せて動けるか動けないか
の判断もしている」と荷
主ニーズへの対応とコン
プライアンスの両立に自
信を見せる。
沢田氏は「運送事業者
が生き残るには直荷主開
拓、生き残りには告示を
含めたコンプライアンス
が絶対必要。それには
デジタコ、GPS動態管
理の導入がカギになる」と
断言する。
(佐々木 健)

デジタコ

営業を展開。創業した1
998年から、大型トラ
ックにしか義務付けられ
ていないタコグラフ(運
行記録計)を4トトラッ
クなどを保有する全車両
に装着し、コンプライア
ン

先端機器導入が効果

ワーク型車載ステーションの
導入により、コンプラ
イアンスの徹底だけでな
く、荷主の信頼獲得など
二重三重の大きなメリッ
トを引き出している。
動態管理システムは導
入が早かったことで、新
たな荷主開拓につながっ
ている。「05年頃はこ
れを使うことで、アパ
レルから情報機器まで、
欧米の輸入ブランド品の
配送業務を受託できた。
IT(情報技術)機器の
最新製品の配送を他社が
していた時は、警護要員
まで付けていた。GPS
で現在位置が把握でき
るので、この警護業務ま
取り入れた」と振り返る。
また、動態管理がクラ
ウドになるこ
とで荷主の業
務改善にもつ
ながった。同社が手掛け
る国際航空貨物は毎日、

法令順守徹底、荷主も開拓

いた。今は過労運転の
防止。事故原因の撲滅に
は力を抜かない。ドライ
バーの早出についても、
必要に出て月の拘束時
間が298時間を超えれ
ば出社停止にする。社命

必要に
間が298時間を超えれ
ば出社停止にする。社命

必要に
間が298時間を超えれ
ば出社停止にする。社命

必要に
間が298時間を超えれ
ば出社停止にする。社命

必要に
間が298時間を超えれ
ば出社停止にする。社命

必要に
間が298時間を超えれ
ば出社停止にする。社命

必要に
間が298時間を超えれ
ば出社停止にする。社命

必要に
間が298時間を超えれ
ば出社停止にする。社命

必要に
間が298時間を超えれ
ば出社停止にする。社命

必要に
間が298時間を超えれ
ば出社停止にする。社命